



室戸から阿南へ ウルトラマラソン開催

高知県室戸市から阿南市に向けて海岸線108キロメートルを駆ける「第2回室戸阿南海岸国定公園ウルトラマラソン」が4月29日に開催されました（NPO法人阿南未来創造社主催）。出場した29人は、沿道で住民の声援やボランティアの支援を受け、28人が見事に完走しました。トップでゴールした石川佳彦さん（31歳・鳴門市）は「景観が美しく、楽しみながら走れました」と満足したようでした。

f 阿南市フェイスブック 阿南市や地域の出来事をいち早くチェック！
市ホームページからご覧いただけます。
<http://www.city.anan.tokushima.jp/>

News Oasis

改元を記念して 明谷梅林令和園に改称

県南部で最も大規模な梅の名所である明谷梅林が「明谷梅林令和園」に改称されました。新しい元号「令和」が、万葉集「梅の歌の序文」に由来することから、住民が発案しました。4月19日、新しい名称を記載した看板が設置されました。明谷自治協議会会長の岡久照夫さん（71歳）と梅林の維持管理を行う住民団体「梅の郷 明谷梅林」の鶴羽ハツエさん（71歳）は、「皆で力を合わせて梅林を盛り上げていきたい。令和時代もたくさんの方が梅林を訪れてほしい」と話していました。



環境保護活動へ 寄付金をいただきました

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様から環境保護活動の費用として金30万円を寄付していただきました。同社は、地域貢献・社会貢献の取組の一環として、ペーパーレス保険証券・Web約款を導入し、各種団体へ環境活動などへの支援を行っています。4月24日、市役所で寄付金寄贈式が行われました。なお、いただいた寄付金は、不法投棄防止看板の作成などに充てます。無料で看板を配布しますので、環境保全課（☎22-3413）までお問い合わせください。



SUP タウンプロジェクト始動

本市は、民間移住支援団体「サステナブル阿南」と協働し、SUP（スタンド・アップ・パドルボード）を通じて交流・関係人口を創出し、移住・定住につなげる「阿南SUPタウンプロジェクト」を開始しました。4月11日、椿地区でSUPが行える可能水域やルールなど取り決めを行う覚書を締結。また、4月26日、プロジェクトが総務省から「関係人口創出・拡大事業」モデル事業の採択を受けました。



見て、触れて、食べて 魚の祭り大盛況

新鮮な海の幸をPRする「漁ぎょ魚まつり2019」が5月3日に椿泊漁協荷捌所で開催され、約3,000人の来場者でにぎわいました（椿泊漁業協同組合主催）。会場では、タチウオなどの活魚が浜値で販売されるなどし、訪れた買い物客が次々と新鮮な魚を買い求めていました。また、活魚のつかみ取りや海の生き物に触れ合える「タッチングプール」を楽しんでいました。



多彩な阿南の美術、ここにあり

「阿南市美術展」が5月3日～5日、文化会館で開催され、市民などの作品196点が展示されました。日本画、洋画、写真、書道、彫塑工芸の5部門に力作がそろい踏み。来場者からは、「毎年楽しみで、見てるとワクワクする」などの感想が聞かれました。阿南市美術協会会長の霜田精奏さん（山口町）は、「新しい時代、今こそ芸術活動を始めて、作品を出展していただきたいです」と話しました。

那賀川の魅力を紹介 広報用動画作成

国土交通省那賀川河川事務所では、那賀川流域や事業内容などを紹介する広報用動画を作成しました。動画では、那賀川の雄大な河川景観を、ドローンを活用して迫力ある映像で紹介するほか、堤防整備・長安口ダム改造事業などの治水事業や過去の洪水被害などを分かりやすく解説しています。なお、広報用動画は、那賀川河川事務所ウェブサイトからご覧いただけます。
HPアドレス：<http://www.skr.milt.go.jp/nakagawa/>



徳島駐屯地 開設7周年行事が開催

陸上自衛隊第14施設隊が訓練などを行う徳島駐屯地で、開設7周年を記念する行事が5月12日に現地で開催されました。隊員70人、車両23台を観閲したほか、音楽隊演奏や車両の体験試乗などが行われ、約1,000人の来場者でにぎわいました。参加した小笠元一さん（68歳・那賀川町）は、「災害時にも活躍する施設隊は、地域住民にとって頼もしい存在です」と話していました。

